

施設見学会



東洋電機㈱氷上工場



工場の概要説明



製品群の説明を受ける

電気設備関連施設や製造工場などの見学を通じて、最新の技術情報を習得するとともに、会員間の交流の促進を図ることを目的として、技術・安全委員会主催による施設見学会が10月29日（水）総勢22名の参加により開催されました。

今年度は電気の安全供給を担う配電用機器である電力ヒューズ等の製造工場を視察・研修することを中心に、丹波地域においてコース立てをし、併せて同地域の観光名所を見学しました。

最初に丹波市の氷上工業団地の一角に位置する東洋電機㈱氷上工場を訪問しました。同工場では、永年にわたる技術開発により信頼性の高い電力ヒューズや屋内用高圧交流負荷開閉器などが製造されており、一連の製品群の説明を受け、実際の製造工程を案内いただきました。会員からは電力ヒューズなどの作業工程が良く理解できた、エレメントの配線がこのように行われているのかなど声が上がり、普段当たり前のように使用する配電用機器類の製造方法を学ぶ機会となりました。

次に、旧篠山町役場を観光施設として改装した「大正ロマン館」を訪れ、昼食、丹波地域の特産品の買い物を楽しんだ後、有力な地酒製造の「鳳鳴・ほろ酔い城下蔵」に移動し、酒造りの歴史、音響を利用した酒づくりの説明を受け、銘酒を試飲しました。その後、篠山城跡と当地に地域の関係者の努力で復元された篠山城大書院の見学を行い、会員の交流の機会としたところです。



試飲を楽しむ



篠山城大書院



丹波伝統工芸公園・陶の郷

最後は、陶器づくりで有名な丹波立杭焼きの拠点施設「陶の郷」を訪れ、伝統ある立杭焼きの製法、製品などを見学・学習し、視察見学会を終えました。